

現職最年少 荒川区議会議員「体は細いが、芯は太い。」

清水ひろし

民主党・市民の会

からの手紙



平成 21 年 6 月号

民主党・市民の会 幹事長に就任

会派の先頭に立ち、3年目の議会活動へ！



鳩山由紀夫代表、民主党の仲間とともに街頭演説

荒川区議会議員として3年目の活動に入った5月末、会派（民主党・市民の会）の幹事長に就任をいたしました。会派の先頭に立って、「区民が納得・満足の実感出来る荒川区政」に向けて、議会活動に取組んで参ります。

5/30には町屋駅前にて鳩山由紀夫代表、木村たけつか氏、滝口学区議とともに街頭演説会を開催いたしました。

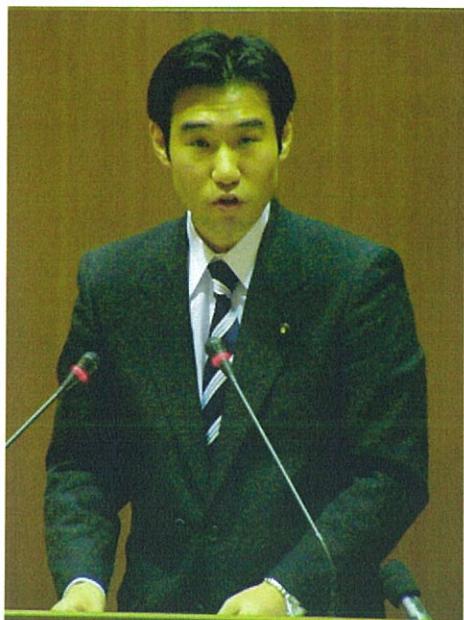
これからも仲間とともに民主党の活動・政策を訴えて参ります。

区の地区マネジメント力向上を求める

3月に閉会した第1回定例議会において、会派を代表して西川区長の施政方針説明に対して質問をいたしました。

この中で、地方自治法第2条「地方公共団体は、（中略）最少の経費で最大の効果を挙げるようしなければならない」を引用し、区政の弛まざる改革を求めました。

また、区の魅力向上には、①「まちの開発」から「まちを育てる」視点を持つこと、②地区・エリアからの発想のもとに事業展開をしていくこと、が必要であり、そのための区のマネジメント力確保・向上について見解を質しました。



保育・子育ての充実を求める～予算特別委員会～



今年度の予算を審議した予算特別委員会では、子育て支援の充実、区民から届く区政に対する意見の扱い方、災害時用の簡易トイレの整備状況などについて質問をいたしました。

質問 区のアンケートによると、①子供を育てている区内に住む母親の半数以上は仕事をしている。②区の子育てメニューについて受講しない理由の半数以上が「知っているが時間の条件が合わない」と回答している。

妊娠した母親への母親学級は平日にのみ開かれている。両親学級は土日に開催されているが、母親学級についても参加のしやすい開催時間の検討が必要ではないか。

答弁 土日開催での開催、実施運営方法での対応の仕方も含めて検討をして参りたい。

質問 厚労省は、保育園への申込を保護者が直接各園へ行うように変更を検討している。保育には「福祉」よりも「保障」という考え方が必要であり、地方自治体として、公平性が損なわれることのないように対応をするべきである。

答弁 制度が変わったとしても、透明性・公平性を確保していくことが区として必要であると認識している。

質問 区民からどういった声や意見が届き、どのように回答・対応しているのか、「見える形」で掲示をしていくことが大事ではないか。

区長答弁 指摘の点は、民主政治の基本である。いろんなルートを開拓しながら、さらに工夫・努力をして参りたい。

本会議質問から（マンション問題）

質問 ビル・マンションには法律で定期検査をすることが定められている。荒川区での実施率は防災設備等検査が50.6%、給排水設備等検査が56%、EV等検査が84.3%と、いずれも国平均を下回っている現状の認識と対応について伺う。

答弁 区民の安全性から問題であると認識しているので、督促を強化していきたい。また、低検査率は本区だけの問題と捉えず、23区の担当者会議でも問題提起を行っていく。

質問 マンション建替えについては平成14年に法整備が進んだが、居住者の世代・資産が異なることにより、現状では建替え事例は数少ない。今後地域の社会問題となることが予想されるが、対応はなされているのか。

答弁 マンションセミナーの開催や、他の成功事例を調査する等して取組んで参りたい。

民主党・市民の会 清水ひろし
〒116-0013 荒川区西日暮里2-20-1-1201
TEL/FAX 03-3801-6325
E-mail shimizu-hiroshi@nifty.com

清水ひろし（34歳 S50(1975)年5/7日生 卯年 A型 おうし座） 現職最年少荒川区議
寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員。現在は「民主党・市民の会」幹事長、総務企画委員会委員、拠点開発調査特別委員会委員、議会運営委員会理事として活動中。